

科学技術と現代社会

第9回

アメリカ人の原爆観

田中 浩朗
(東京電機大学)

アメリカ人の原爆観

- 原爆を開発し、使用し、現在でも保有しているアメリカの人々は、原爆(核兵器)についてどのように考えているのだろうか？
 - ◆ 意見の対立はあるのだろうか？
 - ◆ 人々の考えに変化は見られるだろうか？

スミソニアン原爆展論争

- 1994～95年、スミソニアン協会国立航空宇宙博物館が企画した原爆展の展示内容をめぐる論争
 - ◆ 展示の目玉はB29爆撃機「エノラ・ゲイ」
 - ◆ しかし、被爆の実態、原爆使用の決定過程、戦後の冷戦との関わりなども展示予定
 - ◆ 反対派:政治家や元軍人・兵士など
 - ◆ 賛成派:歴史家など
 - ◆ 反対派の勝利:1995年1月に「エノラ・ゲイ」のみ展示することに。ハーウィット館長は辞任。

ビデオ

- NHKスペシャル
「アメリカの中での原爆論争
～スミソニアン展示の波紋～」
(NHK総合、1995.6.11)
- ◆ スミソニアン原爆展

ビデオ

- NHKスペシャル
「アメリカの中の原爆論争
～スミソニアン展示の波紋～」
(NHK総合、1995.6.11)
- ETV特集 「戦争の記憶を探る 第2回
アメリカ原爆展論争～歴史家ジョン・ダワーの闘い～」
(NHK教育、1995.7.18)
- ◆ 退役軍人の原爆観

背景:アメリカ政府の宣伝①

- 原爆投下の正当化

- ◆ 原爆は日本降伏を早め、上陸作戦を阻止し、100万人もの米兵の命を救った

- ◆ ビデオ:

NHKスペシャル「アメリカの中での原爆論争
～スミソニアン展示の波紋～」

(NHK総合、1995.6.11)

背景:アメリカ政府の宣伝②

- 民間防衛キャンペーン(1950年代)
 - ◆ ソ連の核攻撃に対して、市民は自ら身を守ることができる…核兵器の非人道性を隠蔽
 - ◆ ダック・アンド・カバー(物陰に隠れろ)
 - ◆ 防空壕(シェルター)を設置せよ
 - ◆ ビデオ:
映画「アトミック・カフェ」(1982年、日本語2005年)

原爆被害を直視しようとする人々①

- MIT教授、歴史学者 ジョン・ダワー
原爆展を支持する

- ◆ ビデオ:

ETV特集

「戦争の記憶を探る 第2回 アメリカ原爆展論争」

(NHK教育、1995.7.18)

原爆被害を直視しようとする人々②

- 映像作家 スティーブン・オカザキ(日系3世)
被爆者の証言をもとに映画を制作
 - ◆ ビデオ:
「ヒロシマ ナガサキ
～白い光 黒い雨 あの夏の記憶～」
(NHK総合、2008.8.5、英語版2007年)

原爆被害を直視しようとする人々③

- アカデミー賞映画監督 **オリバー・ストーン**
ベトナム戦争に従軍。アメリカ政府に批判的
- ◆ ビデオ：
「**オリバー・ストーンが語る
もうひとつのアメリカ史 3 原爆投下**」
(NHKBS1、2013.4.11、英語版2012年)

第9回課題

- 第9回授業の簡単なまとめと感想など
- 今回の授業では、原爆という残虐な兵器による非戦闘員の大量殺傷という自国の「負の歴史」を直視しないアメリカ人の姿を見てきた。
- では、日本で似たようなことは起きていないだろうか？ 日本人は、自国の「負の歴史」を直視してきたか？（あなた自身は、日本の「負の歴史」をきちんと学んだことがあるか？）